



2022年10月21日

各位

上場会社名 株式会社 寺岡製作所
代表者名 代表取締役社長 辻 賢一
(コード番号 4987 東証スタンダード)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 石崎 修久
(TEL 03-3491-1141)

業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月26日に公表しました2023年3月期第2四半期連結累計期間及び2023年3月期通期連結の業績予想数値を、最近の業績動向を踏まえ下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四 半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 10,300	百万円 50	百万円 110	百万円 280	円 銭 11 05
今回修正予想(B)	9,500	△800	△500	△350	△13 82
増減額(B-A)	△800	△850	△610	△630	
増減率(%)	△7.8	-	-	-	
(参考)前第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	10,902	122	204	57	2 27

2. 2023年3月期通期連結の業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当 期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 23,200	百万円 520	百万円 520	百万円 590	円 銭 23 29
今回修正予想(B)	22,200	100	350	400	15 79
増減額(B-A)	△1,000	△420	△170	△190	
増減率(%)	△4.3	△80.8	△32.7	△32.2	
(参考)前期実績 (2022年3月期)	22,515	134	370	162	6 42

3. 業績予想の修正の理由

第2四半期において、売上高に関しては、販売主要マーケットのひとつである中国市場の需要停滞の影響から、対中国輸出及び中国内販の売上高が大きく下回り、極めて低調に推移しました。

営業利益に関しては、値上げによる採算改善及び販管費を中心にコスト削減を図ったものの、急激な円安やそれに伴う原材料価格、燃料費及び仕入商品が高騰したこと、売上高減少に伴い、生産数量も減少したこと等により製造原価が上昇したこと、市況の低迷により、長期不動産在庫に対する評価損がほぼ解消できなかったこと等により、売上原価が大幅に上昇したことから、前回予想数値を大きく下回る見込みです。

経常利益に関しては、為替差益を計上したものの、営業利益の下振れから、前回予想値を大きく下回る見込みです。

親会社株主に帰属する四半期純利益に関しては、当初第2四半期に計画していた遊休不動産の一部売却が遅

れたこともあり、前回予想数値を下回る見込みです。

通期の連結業績予想において、為替や原材料価格及び燃料費の動向は引き続き先行き不透明な状況ではありますが、派生新事業における売上拡大が第3四半期以降寄与すること、長期不動在庫の評価損解消の目処がつつあること、取引採算の更なる見直しやもう一段踏み込んだ工場経費及び販管費の削減に努めること等により、収益改善が見込まれるものの、上期の業績予想の大幅な下振れをカバーするまでには至らず、営業利益 1 億円、経常利益 3 億 50 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4億円と前回予想を大きく下回る見通しとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

(注)上記の予想数値は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上